

アカガイ天然採苗試験

塩垣 優・小田切明久・浜田 勝雄・鈴木 勝男

アカガイの天然採苗を行なうに当たり、前年度に引続き、浮遊幼生調査を行ない採苗情報を関係機関に提供した。本年度の採苗は前年度を上回る不作となり、事実上の皆無作となったが、ここでは浮遊幼生調査と付着稚貝調査の概要をしるすにとどめる。

なお、本年度の調査は、むつ地方水産業改良普及所の平野忠技師および清水川支所の八桁由成氏の両氏には定点外の浮遊幼生調査のご協力をいただいた。

1. 浮遊幼生調査

8月中旬から9月中旬の間に、前後4回にわたって本調査を行なった。調査地点は第1図に示した10点、および川内地先3点、清水川地先4点である。

調査方法は前年度と同じく、100ミクロン目合のプランクトンネットにより、各層(10、20、30m)からウイングポンプで汲上げた海水を100ℓこしとり、ホルマリン液で固定後、検鏡に供した。

調査結果を第1表にとりまとめて示したように、幼生の出現量は50年度にくらべてやや多いが、平年を下回るといえ、採苗不良が予想された。

浮遊幼生の出現状況からみて、本年度の採苗器投入適期は8月末と考えられ、6月以降平年をかなり下廻る低水温で推移したにもかかわらず、平年並となった。



第1図 浮遊幼生調査地点図

第1表 アカガイ浮遊幼生調査結果

調査月日	St	浮遊幼生の殻長別出現量(個/m ³)										水深別出現量(個/m ³)			
		120μ ~ 140	140 ~ 160	160 ~ 180	180 ~ 200	200 ~ 220	220 ~ 240	240 ~ 260	260 ~ 280	280 ~ 300	合計	5 m	10 m	20 m	30 m
8.12	2	10.0	5.0					5.0			20.0	—	20	20	—
8.12	3	23.3									23.3	—	30	30	10
8.12	4	16.6									16.6	—	50	0	0
8.12	5	5									5.0	—	10	0	0
8.12	6	13.3	3.3								16.6	—	0	50	0
8.12	7	5.0			5.0						10.0	—	0	20	—
8.21	K 1			16.7							16.7	—	0	50	0
8.21	K 3				16.7						16.7	—	50	0	0
8.21	K 4				16.7						16.7	—	50	0	0
8.24	1						3.3				3.3	—	10	0	0
8.24	2	5.0									5.0	—	0	10	—
8.23	3		3.3					3.3			6.6	—	10	10	0
8.24	4		5.0								5.0	—	10	0	—
8.23	5	3.3	3.3	6.7			3.3		6.7		23.3	—	70	0	0
8.23	6	30.0	6.7				3.3				40.0	—	60	60	0
8.23	7		3.3								3.3	—	0	10	0
8.23	8	3.3		3.3			6.7				13.3	—	30	10	0
8.23	9	3.3									3.3	—	0	10	0
8.23	10	10.0		3.3	3.3						16.7	—	10	10	30
8.26	S 1		17			17					34.0	50	50	0	—
8.26	S 2										0	0	0	0	0
8.26	S 3										0	0	0	0	0
8.26	S 4										0	0	0	0	0
8.31	1		3.3								3.3	—	10	0	0
8.31	2	5.0	10.0						5.0		20.0	—	10	30	—
8.30	3		3.3								3.3	—	10	0	0
8.30	4	16.7		3.3	3.3	3.3	3.3		3.3	3.3	36.5	—	50	60	0
8.30	7	3.3	3.3	3.3	3.3						13.2	—	0	30	10
8.30	8			3.3	3.3		3.3				9.9	—	10	20	0
8.30	9	6.7	3.3	3.3		3.3	3.3	3.3			23.2	—	10	60	0
8.30	10	6.7	3.3		3.3		3.3	6.7	3.3		26.6	—	60	20	0
9. 9	1		6.7					3.3			10.0	—	30	0	0
9. 8	2				5.0						5.0	—	0	10	—
9. 8	3			6.7					3.3		10.0	—	20	10	0
9. 9	4		5.0							5.0	10.0	—	20	0	—
9. 8	5	3.3	3.3	6.7		6.7	3.3		3.3	3.3	29.9	—	40	50	0
9. 8	6			3.3	6.7						10.0	—	30	0	0
9. 8	7								3.3		3.3	—	10	0	0
9. 8	8									6.7	6.7	—	0	10	10
9. 8	9					3.3					3.3	—	10	0	0
9. 8	10	3.3	3.3				3.3				9.9	—	10	10	10

2. 付着稚貝調査

付着稚貝の調査は茂浦、川内の2ヶ所で行ない、その採苗状況を第2表に示したように、陸奥湾におけるアカガイの天然採苗始って以来の史上最低の不作となった。

第2表 アカガイの付着状況

場 所	採 苗 器 投入月日	調 査 月 日	段 別	ア カ ガ イ		ア カ ザ ラ ガ イ	
				個	殻長 (mm)	個	殻長 (mm)
茂 浦	8. 25	11. 8	中	1	1. 2	60	—
	9. 3	11. 8	中	1	4. 3	—	—
	9. 9	11. 8	中	1	2. 6	—	—
川 内	8. 27	2. 15	上	4	3. 0 ~ 10. 4	175	—
	8. 27	2. 15	中	4	3. 0 ~ 9. 6	155	12. 6 ± 2. 3
	8. 27	2. 15	下	6	5. 1 ~ 8. 7	198	13. 0 ± 2. 1
	8. 27	4. 27	上	0	—	92	13. 2 ± 2. 1
	8. 27	4. 27	中	0	—	96	14. 0 ± 2. 2
	8. 27	4. 27	下	0	—	139	13. 8 ± 2. 0